

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2012-247674(P2012-247674A)

【公開日】平成24年12月13日(2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2011-120240(P2011-120240)

【国際特許分類】

G 02 B	7/28	(2006.01)
G 02 B	7/36	(2006.01)
G 03 B	13/36	(2006.01)
G 03 B	7/091	(2006.01)
G 03 B	15/00	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/232	(2006.01)
H 04 N	5/235	(2006.01)
H 04 N	101/00	(2006.01)

【F I】

G 02 B	7/11	N
G 02 B	7/11	D
G 03 B	3/00	A
G 03 B	7/091	
G 03 B	15/00	F
H 04 N	5/225	Z
H 04 N	5/232	A
H 04 N	5/235	
H 04 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月14日(2014.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段を備える撮像装置であって、
ユーザによる半押し操作と全押し操作が実行可能なシャッターボタンと、
前記撮像手段により被写体を撮像する際の撮像条件を自動的に調整する撮像条件調整手段と、

前記シャッターボタンがユーザにより一気に全押し操作された場合に、ユーザによる当該装置本体の操作状態に関連する操作状態情報を取得する取得手段と、

この取得手段により取得された操作状態情報に基づいて、ユーザが前記シャッターボタンを用いた撮像操作を急いで行ったか否かを判断する判断手段と、

この判断手段により前記撮像操作を急いで行っていないと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に第1調整処理を実行させ、一方、前記判断手段により前記撮像操作を急いで行ったと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に前記第1調整処理よりも処理速度が速い第2調整処理を実行させる調整制御手段と、

を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

ユーザにより当該装置本体が所定の状態になった時点からの経過時間を計時する計時手段を更に備え、

前記取得手段は、前記操作状態情報として、前記計時手段により計時された当該装置本体が所定操作された時点から前記シャッターボタンが一気に全押し操作されるまでに要した所要時間を取得し、

前記判断手段は、前記取得手段により取得された所要時間が所定時間未満であるか否かに応じてユーザが前記撮像操作を急いで行ったか否かを判断することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記計時手段は、当該装置本体が起動した時点及び撮像モードが設定された時点のうち、少なくとも一方の時点からの経過時間を計時することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記調整制御手段にて実行される前記第1調整処理及び前記第2調整処理は、合焦処理、露出調整処理、ホワイトバランス調整処理のうちの少なくとも1つであることを特徴とする請求項1～3の何れか一項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

撮像手段と、ユーザによる半押し操作と全押し操作が実行可能なシャッターボタンと、前記撮像手段により被写体を撮像する際の撮像条件を自動的に調整する撮像条件調整手段とを備える撮像装置を用いた撮像方法であって、

前記シャッターボタンがユーザにより一気に全押し操作された場合に、ユーザによる当該装置本体の操作状態に関連する操作状態情報を取得する処理と、

取得された操作状態情報に基づいて、ユーザが前記シャッターボタンを用いた撮像操作を急いで行ったか否かを判断する処理と、

前記撮像操作を急いで行っていないと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に第1調整処理を実行させ、一方、前記撮像操作を急いで行ったと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に前記第1調整処理よりも処理速度が速い第2調整処理を実行させる処理と、

を行うことを特徴とする撮像方法。

【請求項 6】

撮像手段と、ユーザによる半押し操作と全押し操作が実行可能なシャッターボタンと、前記撮像手段により被写体を撮像する際の撮像条件を自動的に調整する撮像条件調整手段とを備える撮像装置のコンピュータを、

前記シャッターボタンがユーザにより一気に全押し操作された場合に、ユーザによる当該装置本体の操作状態に関連する操作状態情報を取得する取得手段、

この取得手段により取得された操作状態情報に基づいて、ユーザが前記シャッターボタンを用いた撮像操作を急いで行ったか否かを判断する判断手段、

この判断手段により前記撮像操作を急いで行っていないと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に第1調整処理を実行させ、一方、前記判断手段により前記撮像操作を急いで行ったと判断された場合には、前記撮像条件調整手段に前記第1調整処理よりも処理速度が速い第2調整処理を実行させる調整制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。